

平成 26 年 3 月 18 日

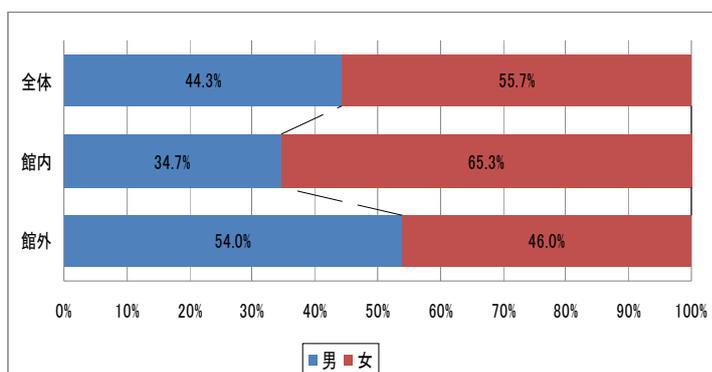
2013 年度 図書館利用アンケート調査結果

図書館利用の実態を把握することにより利用促進や環境整備のため、学生の利用に関するアンケートを下記の通り実施した。

対象	図書館内及び図書館外に滞在中の本学学生
人数	300 名（館内 150 名、館外 150 名）
期間	平成 25 年 12 月 18 日（水）～平成 26 年 1 月 9 日（木）
方法	同意した学生に対して、面接及び調査票記入
備考	グラフの（％）については、少数点以下四捨五入 図書館外は、7 号館、学生会館、12 号館ベーカーリーにて調査 2012 年度も、同時期に同様のアンケートを実施

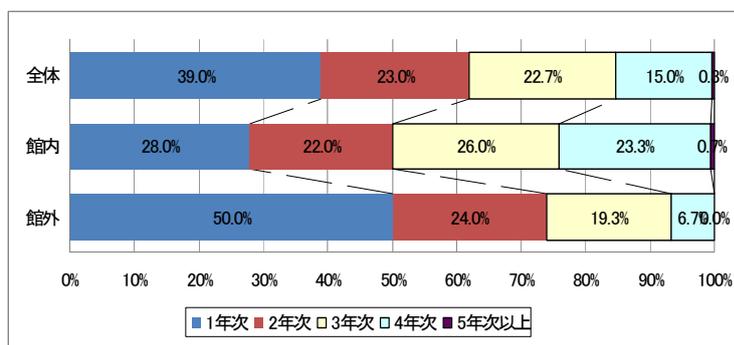
Q1 性別をお知らせください。

	館外	館内	全体
男	81	52	133
	54.0%	34.7%	44.3%
女	69	98	167
	46.0%	65.3%	55.7%



Q2 学年をお知らせください。

	館外	館内	全体
1 年次	75	42	117
2 年次	36	33	69
3 年次	29	39	68
4 年次	10	35	45
5 年次以上	0	1	1
	50.0%	28.0%	39.0%
	24.0%	22.0%	23.0%
	19.3%	26.0%	22.7%
	6.7%	23.3%	15.0%
	0.0%	0.7%	0.3%



2012 年度と同様の結果だった。

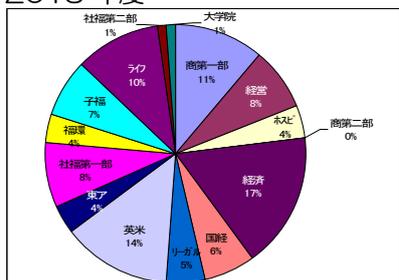
「館外」・・・7 号館・学生会館では、1 年生がグループでいる傾向にある。12 号館バーカリーは、高学年の落ち着いた 2・3 人組みが多い。

「館内」・・・レポート・卒論作成などが目的の高学年の利用者が多い。

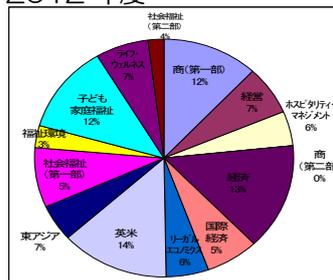
Q3 所属をお知らせください。

	館外	館内	全体		館外	館内	全体
商（第一部）	11	22	33	英米	15	26	41
経営	16	8	24	東アジア	2	9	11
ホスピタリティ・マネジメント	7	5	12	社会福祉(第一部)	11	13	24
商（第二部）	0	0	0	福祉環境	5	6	11
経済	29	22	51	子ども家庭福祉	12	10	22
国際経済	4	15	19	ライフ・ウェルネス	28	3	31
リーガル・エコノミクス	7	7	14	社会福祉(第二部)	0	4	4
				大学院	3	0	3

2013年度



2012年度

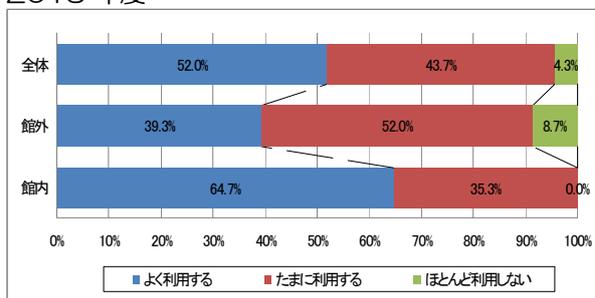


「館外」の7号館や学生会館では、「ライフウェルネス」滞在者が多い。「子ども家庭福祉」は、2012年度と比較すると減少している。実習準備などのグループ利用が「LC」へ移動しているようだ。

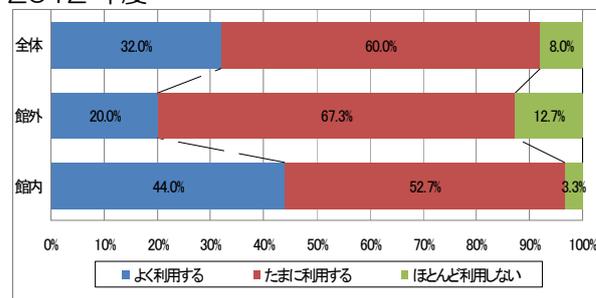
Q4 図書館を利用しますか？

	館内		館外		全体	
	2013	2012	2013	2012	2013	2012
よく利用する	97 64.7%	66 44.0%	59 39.3%	30 20.0%	156 52.0%	96 32.0%
たまに利用する	53 35.3%	79 52.7%	78 52.0%	101 67.3%	131 43.7%	180 60.0%
ほとんど利用しない	0 0.0%	5 3.3%	13 8.7%	19 12.7%	13 4.3%	24 8.0%

2013年度



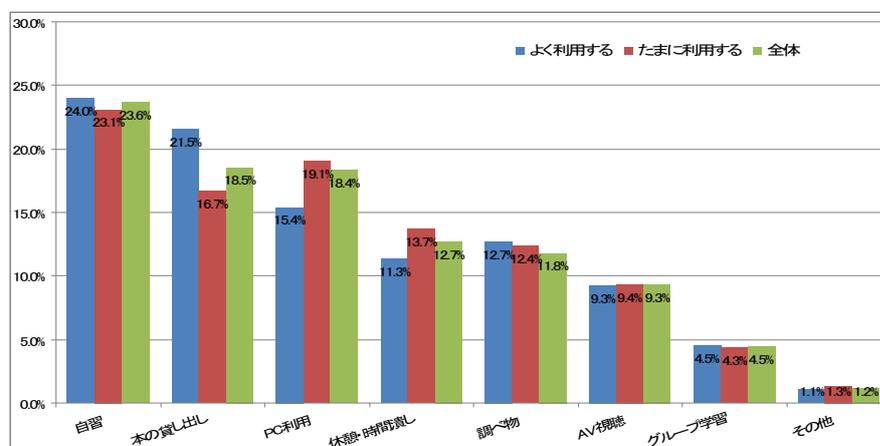
2012年度



「よく利用する」利用者が大幅に上昇した。また、「館内」で調査した利用者が、「よく利用する」傾向にある。

Q5 利用する目的は何ですか？（複数回答可）

		よく利用する			たまに利用する			合計
		館内	館外	計	館内	館外	計	
1	自習	75 25.9%	31 20.5%	106 24.0%	26 20.0%	43 25.4%	69 23.1%	175 23.6%
2	本の貸出	64 22.1%	23 15.2%	87 21.5%	35 26.9%	15 8.9%	50 23.4%	137 22.3%
3	PC 利用	48 16.6%	31 20.5%	79 15.4%	22 16.9%	35 20.7%	57 16.7%	136 15.9%
4	休憩・時間 潰し	33 11.4%	20 13.2%	53 11.3%	13 10.0%	28 16.6%	41 12.4%	94 11.8%
5	調べ物	31 10.7%	19 12.6%	50 12.7%	15 11.5%	22 13.0%	37 9.4%	87 11.4%
6	AV 視聴	22 7.6%	19 12.6%	41 9.3%	11 8.5%	17 10.1%	28 9.4%	69 9.3%
7	グループ 学習	14 4.8%	6 4.0%	20 4.5%	7 5.4%	6 3.6%	13 4.3%	33 4.5%
	その他	3 1.0%	2 1.3%	5 1.1%	1 0.8%	3 1.8%	4 1.3%	9 1.2%
	合計	290 100%	151 100%	441 100%	130 100%	169 100%	299 100%	740 100%



2012 年度と比較した場合、利用目的の大きな変化はなかった。利用頻度に関係なく、広範囲で利用されている。また、「グループ学習」及び「PC利用」が伸びていないことが、今後の課題である。

Q6 ラーニング・commons（図書館 1 階 7 号館側）を利用していますか？

		図書館						合計
		よく利用する			たまに利用する			
		館内	館外	計	館内	館外	計	
LC	よく利用する	26 26.8%	9 15.3%	35 22.4%	5 9.4%	12 15.4%	17 13.0%	52 18.1%
	たまに利用する	28 28.9%	29 49.2%	57 36.5%	23 43.4%	41 52.6%	64 48.9%	121 42.2%
	ほとんど 利用しない	43 44.3%	21 35.6%	64 41.0%	25 47.2%	25 32.1%	50 38.2%	114 39.7%
合計		97 100%	59 100%	156 100%	53 100%	78 100%	131 100%	287 100%

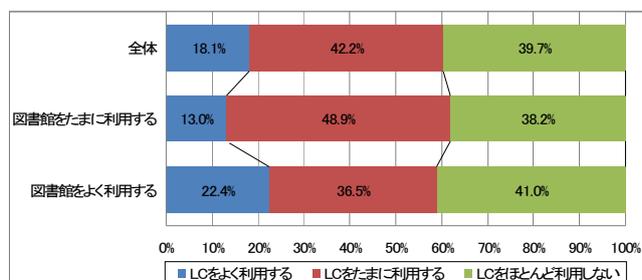
図書館の利用頻度による「LCの利用状況」に大きな違いは見られない。全体の約40%にあたる「LCをほとんど利用しない」利用者は、「静かに利用する」利用者。「LCをたまに利用する」利用者は、「その時の利用目的」により使い分ける。そして、全体の約20%にあたる「LCよく利用する」利用者は、「個人利用でも開放的な学習環境を好む」ことが分かった。

Q7 ラーニング・commonsの取り組みについてどう思いますか？

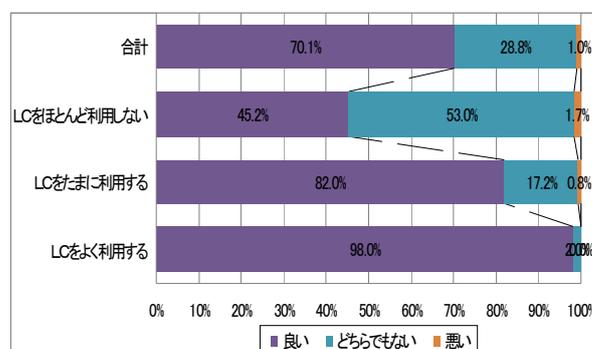
	LC									合計
	よく利用する			たまに利用する			ほとんど利用しない			
	館内	館外	計	館外	館内	計	館内	館外	計	
良い	31 100%	19 95.0%	50 98.0%	46 90.2%	54 76.1%	100 82.0%	32 47.1%	20 42.6%	52 45.2%	202 70.1%
どちらでもない	0 0.0%	1 5.0%	1 2.0%	4 7.8%	17 23.9%	21 17.2%	35 51.5%	26 55.3%	61 53.0%	83 28.8%
悪い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 1.5%	1 2.1%	2 1.7%	3 1.0%
合計	31 100%	20 100%	51 100%	51 100%	71 100%	122 100%	68 100%	47 100%	115 100%	288 100%

全体で約70%の賛成意見があった。LCについて、「どちらでもない」回答者（83名）の約60%は「賛同する意見」、約40%は「利用する目的（必要）がない」となり、反対意見は無かった。つまり、LCへの反対意見は実質1%ということになる。

【Q6】

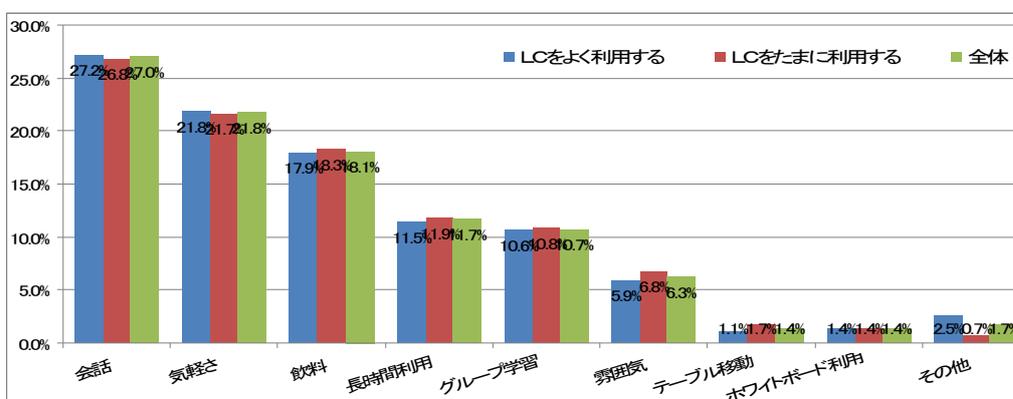


【Q7】



Q8 (LCを利用する)理由を教えてください。(複数回答可)

		LC						総計
		よく利用する			たまに利用する			
		館内	館外	計	館内	館外	計	
1	会話ができる	60 27.3%	37 27.0%	97 27.2%	33 24.6%	46 28.6%	79 26.8%	176 26.2%
2	気軽さ	48 21.8%	30 21.9%	78 21.8%	32 23.9%	32 19.9%	64 21.7%	142 21.1%
3	飲料ができる	40 18.2%	24 17.5%	64 17.9%	21 15.7%	33 20.5%	54 18.3%	118 17.6%
4	長時間利用できる	23 10.5%	18 13.1%	41 12.3%	15 11.2%	20 12.4%	35 12.2%	76 11.3%
5	グループ学習ができる	26 11.8%	12 8.8%	38 9.8%	16 11.9%	16 9.9%	32 10.5%	70 10.4%
6	雰囲気が良い	12 5.5%	9 6.6%	21 5.9%	12 9.0%	8 5.0%	20 6.8%	41 6.1%
7	テーブルが移動できる	3 1.4%	1 1.5%	4 1.1%	1 2.2%	4 0.6%	5 2.4%	9 4.3%
8	ホワイトボードが利用できる	3 1.4%	2 0.7%	5 1.4%	3 2.2%	1 2.5%	4 1.6%	9 1.3%
	その他	5 2.3%	4 2.9%	9 2.5%	1 0.7%	1 0.6%	2 1.6%	11 1.6%
	合計	220 100%	137 100%	357 100%	134 100%	161 100%	295 100%	652 100%



LCの利用頻度による利用目的の違いは、ほとんど無かった。LCの場所の良さ、自由な雰囲気が評価されている。今後は、LCが多くの利用者に定着することで、グループ学習、テーブル移動及びホワイトボード利用が増えていくことが期待される。

Q9 (利用しない)理由を教えてください。(複数回答可)

◎Q4 図書館を「ほとんど利用しない」13名対象

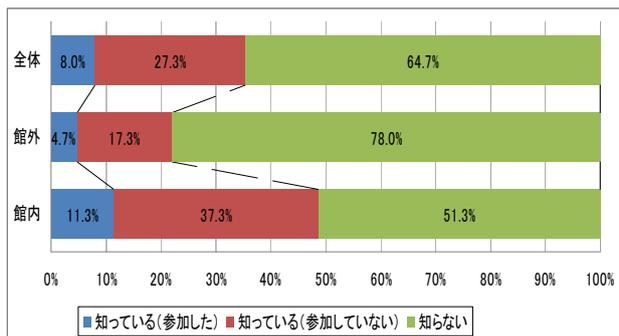
利用する目的(必要)がない	10
一緒に行く人がいない	1
うるさい	1
その他	2

◎Q7 LCを「悪い」と思う3名対象。

うるさい	2
利用する目的(必要)がない	1
その他	1

Q10 「Library Lovers'2013 ～読書の芋～」について知っていますか？

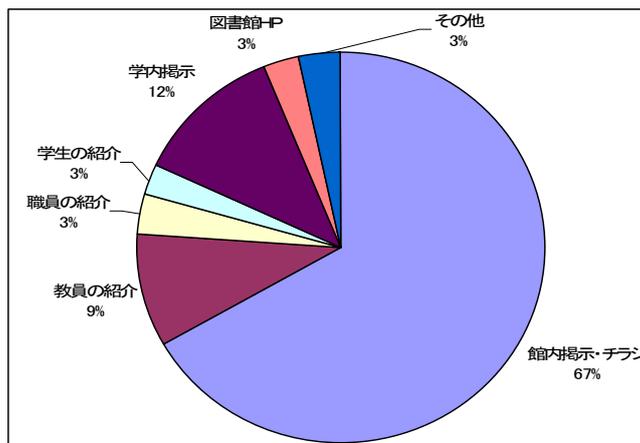
	館内	館外	全体
知っている (参加した)	17 11.3%	7 4.7%	24 8.0%
知っている (参加していない)	56 37.3%	26 17.3%	82 27.3%
知らない	77 51.3%	117 78.0%	194 64.7%



Q11 どこで知りましたか？

	館内	館外	全体
館内掲示・チラシ	22	56	78
教員の紹介	2	9	11
職員の紹介	0	4	4
学生の紹介	2	1	3
学内掲示	4	10	14
図書館HP	1	2	3
その他	3	1	4

その他・・・参加していないので分からない。



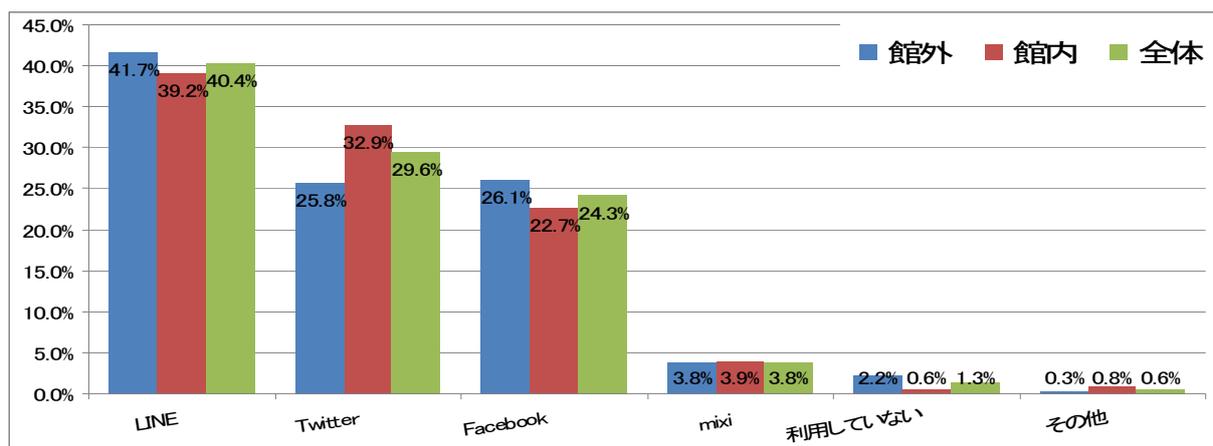
Q12 率直な感想をお聞かせください。

参加者対象	館内	館外	全体
面白い	4	13	17
普通	1	3	4
面白くない	0	0	0
分からない	2	1	3

「知っている」割合が2012年度の約10%から約35%に上昇した。それに併せて、「参加した」割合も約1%から約10%に上昇した。授業と協同したこと、参加しやすさ及びポスターの奇抜さの効果があったようだ。それでも、参加者の割合は厳しい状況である。

Q13 SNS（ソーシャルネットワークサービス）で利用中のサービスを、教えてください。（複数回答可）

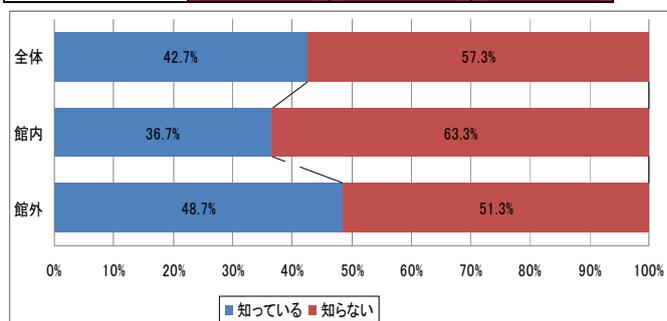
		館内		館外		全体	
1	LINE	142	39.2%	131	41.7%	273	40.4%
2	Twitter	119	32.9%	81	25.8%	200	29.6%
3	Facebook	82	22.7%	82	26.1%	164	24.3%
4	mixi	14	3.9%	12	3.8%	26	3.8%
5	利用していない	2	0.6%	7	2.2%	9	1.3%
	その他	3	0.8%	1	0.3%	4	0.6%
	合計	314	100%	362	100%	676	100%



「LINE」「Twitter」「Facebook」の3強に変わりないが、昨年度と比較すると「LINE」が一步抜け出した結果となった。「LINE」公式アカウント開設に向けて進めていきたい。

Q14 図書館の公式SNS（Facebook・Twitter）は知っていますか？

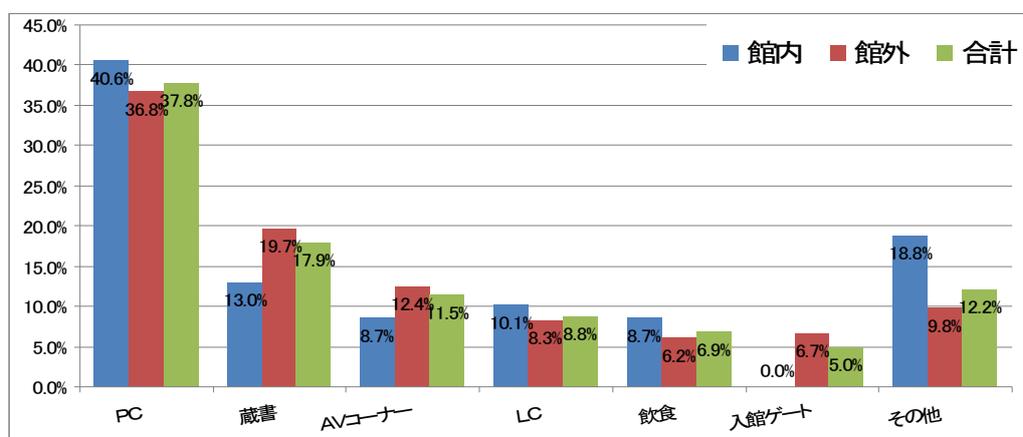
	館内	館外	全体
知っている	55 36.7%	73 48.7%	128 42.7%
知らない	95 63.3%	77 51.3%	172 57.3%



「Facebook」の「いいね・シェア」および「Twitter」の「リツイート」などの行動する利用者は限られているが、2013年4月から運用期間を開始して9ヶ月しか経過していないが、良く拡散している。

Q15 図書館に対して要望がありましたら、どのようなことでも結構ですのでご意見をお聞かせください。

		館内		館外		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	PC	28	40.6%	71	36.8%	99	37.8%
2	蔵書	9	13.0%	38	19.7%	47	17.9%
3	AV	6	8.7%	24	12.4%	30	11.5%
4	飲食	7	8.7%	16	6.2%	23	6.9%
5	LC	6	10.1%	12	8.3%	18	8.8%
6	入館ゲート	0	0.0%	13	6.7%	13	5.0%
	その他	13	18.8%	19	9.8%	32	12.2%
	合計	69	100%	193	100%	262	100%



図書館に関する不満は大幅に減少した。PCに関する要望が高く、これらのニーズに対応することが急務である。今年度は、館外利用者から入館ゲートに関する要望が出ているのが特徴である。